

第 1 回横浜市少年自然の家指定管理者選定評価委員会 議事録	
開催日時	平成 24 年 7 月 27 日（金）午前 10 時から午前 11 時 40 分
開催場所	関内中央ビル 5 B 会議室
出席者	石井 一也委員、犬塚 文雄委員、為崎 緑委員、松永 昌幸委員、渡辺 祐子委員（五十音順）、事務局 4 人
傍聴者	なし
議 題	1 指定管理者選定評価委員会委員長の選出について 2 指定管理者選定評価委員会の公開・非公開について 3 指定管理者の評価制度と横浜市少年自然の家について 4 評価シートの内容について 5 次回以降の委員会の予定について
審議内容	議題 1 犬塚委員が委員長に選出された
	議題 2 すべて公開することに決定した。
	議題 3 資料 3 「横浜市少年自然の家について」及び資料 4 「指定管理者の評価について」を事務局から説明した。
	議題 4 評価シート（案）について、事務局から説明した。 （主な質問と意見） ・この評価シート作成にあたって全体の構成のベースとなっているものは何か。また、資料 4 の「指定管理者の評価について」のところで、「その他の施設について専門性や施設特性等を考慮して」とあるが、この施設に特徴的な部分はどこか。 →マニュアルについては、市内地区センター等、管理運営を中心とした施設を対象としているものであるが、参考としている。施設に特徴的なところは、青少年育成施設として、プログラムや自主事業に関する部分に特性があると考える。 ・評価が「できている」と「できていない」の二者択一となっているが、一つの設問で二つのことが含まれている場合がある。片方だけできている場合どちらを選択するのか判断に迷う。 ・二者択一では、全体的には良くできていても、できていない部分が少し

	<p>でもあと、できていないほうを選択することになり、評価を受けた側にとって表現が厳しすぎるのではないか。</p> <p>→ABCの三段階評価に変更し、具体的内容については評価委員会側のコメントで補足する。</p> <p>・この評価シートは両施設とも共通のシートだが、それぞれに独自の設問があっても良いのではないか。</p> <p>→赤城と南伊豆では自然の立地条件が異なるので、災害時の対応でそれぞれ独自の設問を追加する。</p> <p>・共通業務以外で指定管理者が独自に実施している部分もあると思うので、アピールする部分も書いてもらったほうが良いのではないか。</p> <p>→指定管理者記述欄を2つに分けて、アピールする部分と課題とそれぞれ分けて書いてもらうように修正する。</p>
	<p>議題5</p> <p>第2回及び第3回委員会は、それぞれ赤城林間学園と南伊豆林間学園とで、視察及びヒアリングを行う。開催日時については、後日、事務局で各委員からの予定を集約し決定することとなった。</p>
<p>資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1－横浜市少年自然の家指定管理者選定評価委員会 委員名簿 ・資料2－横浜市少年自然の家指定管理者選定評価委員会運営要綱 ・資料3－横浜市少年自然の家について ・資料4－横浜市の指定管理者の評価について ・資料5－横浜市少年自然の家指定管理者評価シート（案） ・資料6－横浜市少年自然の家（赤城林間学園・南伊豆臨海学園）パンフレット